連盟ニュース 神奈川　２月

No.517

「地平線の会」は７人の小さな会です。山行も少人数ですが、わきあいあいとやっています。わが会の売りである「野鳥観察会」の写真を載せたかったのですが、観察が精一杯で、よいものがありません。この写真は、２３年１２月に実施された県連自然保護委員会の「山小屋に泊ろう　丹沢ホーム」の１日目の大山北尾根の登山風景です。久しぶりのにぎやかな登山。他の会の方たちとの交流山行は楽しいものでした。（磯部）

事故一報」の送付先をお知らせします。

＊「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡＊

全国窓口：労山基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp/FAX03-3235-4324

県連窓口：遭難対策部メール及び基金申請書は、ホームページの連盟員のページから

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0045　横浜市神奈川区神奈川２－１４－６　トーリクビル３階
http：//www.k-rouzan.net/

発行責任者　早川尚武
発行年月日　２０２４年２月１５日

２月号（Ｎｏ．５１７）　目　　次

第３９回日本勤労者山岳連盟神奈川県連総会のお知らせ ―――――――――――― ２
教育部　気象机上講習会春山編のご案内 ―――――――――――――――――――― ３
自然保護委員会「第４回丹沢の山小屋に泊まろう・丹沢ホーム」 ――――――― ４
事務局長会議議事録 ――――――――――――――――――――――――――― ８
常任理事会議事録 ――――――――――――――――――――――――――― １０
各会の活動報告 ――――――――――――――――――――――――――― １１
２０２４年度丹沢　春の植樹参加者募集のご案内 ――――――――――――― １３
県連のスケジュール ――――――――――――――――――――――――――― １４

第３９期日本勤労者山岳連盟神奈川県連総会のお知らせ

日時　２０２４年３月１０日９：４５受付１０：００開会

会場　神奈川県立かながわ労働プラザ（Ｌプラザ）第５．６会議室

理事表・代議員表・代理人・委任状２０２４年２月３日２１：００

意見書締め切り２０２４年３月１日

無理な場合はご連絡ください。

県連窓口：ホームページの連盟員のページから

岩田新一　神奈川県連事務局長

神奈川県勤労者山岳連盟教育部 気象机上講習会 春山編 申込みのご案内

令和6年2月4日

1. 講師

野尻 英一氏　登山時報「登山に役立つ気象のお話」執筆者、気象予報士

2. 開催日時

2月27日（火）20時より1.5時間(予定)　講習はZoomで行います。

※期日が近付いたらZoomの接続先についてE-Mailで連絡いたします。

3. 申込み連絡先

bosyuu002@k-rouzan.net　　締切2月25日(日)20時まで

E-Mail送信の際には必ず、送信者氏名、所属会、返信用アドレスをメール本文に明記して下さい。別紙申込用紙に必要事項を記入の上、添付ファイルにて送信して下さい。

4. 主な内容

春山（3月～梅雨まで）の日本の気象の仕組み

　地球全体の気象の仕組み

　日本の春の主な天気悪化要因と悪天候の現れ方（低気圧、南岸前線、寒冷前）

春山で気象遭難の多いパターンと注意点

　上空の強い寒気

　低気圧の発達

春の気象遭難の事例と事例から学ぶこと

※以下のような事例から、いくつかご紹介を予定しています。

- 強い日本海低気圧による遭難（1972.3富士山）
- 3月の雪崩による遭難（2017.3那須岳、2000.3大日岳）
- 雷による遭難（2019.GW　丹沢）
- 上空の寒気による遭難（2012.GW　白馬岳）
- 集中豪雨による遭難（2019.5　屋久島）
- 山の悪天候を軽視した結果に発生する遭難（2014.GW穂高、2018.3奥多摩）
- 沢の事故

登山のための気象情報の聞き方取り方

　現在の天気予報の作られ方

　パソコン、スマホの気象情報のおすすめ

5. 机上講習会受講に関する注意事項

質疑応答の時間以外は必ず音声をミュートにして下さい。

以上

自然保護委員会活動報告

「第４回丹沢の山小屋に泊まろう･丹沢ホーム」

＊日　時：１２月１６日（土）～１７日（日）

＊参加者：１６名

相模アルパインクラブ（渡辺）、みずなら山の会（関根・末吉）、地平線の会（伊藤・磯部）、川崎ハイキングクラブ（河合）、山＋＋（中村）、藤沢山の会（萩原・後藤・前田・田中・岡崎・佐藤・渡辺・内田・竹村）

＊日　程：

１２月１６日（土）曇りのち晴れ　風強し

ヤビツ峠出発

ヤビツ峠 9：55―11：40 大山山頂 12：05―13：50 新多摩線 16 号鉄塔―15：00 地獄沢橋 15：05―15：30 丹沢ホーム（泊）

夕食後、中村道也さんのお話と交流。「丹沢の今」と題して、丹沢を中心とした自然保護活動のスライドを見ながら、お話を伺う。

大山北尾根を歩く

１２月１７日（日）晴れ

●ヨモギ尾根コース　７名

丹沢ホーム 8：00－9:55 ヨモギ平 10:05－11：10 三ノ塔(昼食) 11:35－11:55 二ノ塔 12：05－12:55 菩提峠駐車場 13：10－13：55 岳ノ台 14：10－14：45 ヤビツ峠＝（バス）＝秦野駅

●長尾尾根コース　７名

丹沢ホーム８：00―札掛分岐 8:50―新大日 11：40―政次郎ノ頭 12:30―13:30 政次郎尾根 880m 地点　１名足首を捻り負傷。応急処置後下山ー14:45 頃木ノ又小屋スタッフと遭遇し、そのサポートで負傷者とメンバー1名下山。残り５名のメンバー戸沢へ先行―15:50 先発隊戸沢の出合―17:05 負傷者グループ戸沢の出合。木ノ又小屋スタッフの車に同乗し、大倉着―17:50　救急車で秦野の病院へ搬送され、右足首骨折と判明。

＊事故報告は現在取りまとめており、県連総会までには提出の見込み

＊参加者の報告

川崎ハイキングクラブ　河合

１日目は大山山頂より電波塔の裏の脚立を越えて北尾根へ。途中、熊の糞を何度か見た！

２日目はヨモギ尾根を三ノ塔まで。末端部は植林地の急登、ヨモギ平は草地広がるいい尾根。菩提峠の植樹活動地を見て、ヤビツ峠に戻った。

丹沢ホームではおいしい食事をいただき、夜はご主人中村道也さん（ＮＰＯ法人丹沢自然保護協会理事長）の「丹沢の今」のお話を聞いた。

①丹沢の大問題はシカの食害だ。戦後、山麓の開発が進み、シカが山の中に追いやられた。山の木が大量伐採され、そこがエサとなる草地になり、シカが爆発的に増えた。植林した苗もドンドン食べてしまい、シカの駆除が問題となる。「シカが増えたのではなく、人間が増やした！！」

②「シカがヒルを増やした？」、ヒルがシカの蹄の間に入り込み、あちこちに運ばれ増えたと思っていた。⇒シカは蹄の間も剛毛で覆われ、ヒルが吸い付けないとも言う。（ただし、繰り返し吸血することでシカの蹄の間に有穴腫瘤という穴をあけそこにヒルが入り込み半寄生という研究も。後はイノシシ。）次はヒルを付けた人間が、落とす・広げる！　人が広げた？！ 人が連れて行く猟犬など、犬にもよくつく（肉球）。カエル、狸にもつくが行動範囲が狭い。

③「熊は何を食べる？」＝「木の実」が出た、「正解」！　小学生とビニール手袋をして、クマの糞を水洗い。出てきた種をポットに植えると発芽。例）サルナシ（キウイの原種、台湾から伝わる＝当時日本領）など、色々芽吹いた。クマが森を育てている

④「イワナのエサ」＝水生昆虫 ２５％、陸生昆虫 ７５％！！　渓畔林（けいはんりん）に陸生昆虫がいっぱい！丹沢の渓畔林は大切なのに、県は保護の対象から外した。　⇒ 虫がいなくなる。魚が減る！県に間違っていることは「間違いだ！」と言っていく必要がある。

⑤水源環境保全税（神奈川県が納税者１人当たり年額 ８８０円を徴収、総計年額４２億円！）⇒私達は何に使われているのか、見ていく必要がある。県は県民にやっていることを説明する必要がある。興味深い、エーと思う話しを数々聞かせてもらった！！

三重県の小学生達が自分たちで実験して書いた「子どもヤマビル研究会」の冊子を見せてもらった。もっと広めていく価値がある実験の数々！！スゴイ内容！！　ちょっとこれから、私達もじっくりいろいろと、学んでいかなくては。

みずなら山の会　末吉

１２月１６日、天気は曇りに変わったものの生暖かい風、大山の山頂付近は雲がかかっている。山頂は雨かと危ぶまれたが、天気は好転し、晴れ間も見えだす。ヤビツ峠から１０時、１５人、大山山頂には１１時４０分到着。昼食後北尾根下山。国民宿舎丹沢ホームに１５時３０分到着。送迎バスできた関根さんと合流する。部屋割り後、入浴。汗を流して、夕食。手料理で、とてもおいしかった。夕食後は、ホームのご主人から、自然保護にまつわる、植生、ヒル、熊、保護運動のなどの話をスライドで見ながら伺う。丹沢の歴史を知る話はためになった。

１２月１７日、晴天。朝食をいただいて、８時出発。ヨモギ平コースを７人で、ヤビツまで。富士山や海、丹沢の山容をいろいろな角度で楽しみながら歩く。ヤビツ峠１４時５１分のバスに間に合い、帰途につく。他会の人との交流もあり、とても楽しかった。このような機会を作ってくださり、ありがとうございました。

＊参加者の感想

地平線の会　伊藤

丹沢ホームの夕食は魚はヤマメ、肉は合鴨。キャラブキ、柚子のママレード。野菜を中心にした小さなおかずは作り手の心遣いでどれも美味しい。その夕食後、中村道也さんに丹沢の自然の歴史と現在の課題を話していただいた。

１９９６年に丹沢自然保護協会４代目会長に就いた中村さん。山小屋の運営のかたわら、長く自然保護活動をされて、その話には重みがある。

熊が山から下りてきているのは主に人間の活動が原因である。戦後、杉、ヒノキを植林したことで木の実が減ってしまった。今や杉・ヒノキの面積は５割を超えているという。それを以前のブナをはじめとする樹林に戻していきたい。小学生から若い世代へ向けての観察会を行っている。そこで丹沢の自然環境を知ってもらい、再生活動に繋げている。山の直面する問題を聞いて、有意義な時間を過ごすことができた。皆さまありがとうございました。

藤沢山の会　後藤

初めて丹沢の山小屋に宿泊しました。他の会の方々との楽しい山行に加えて丹沢ホームの中村道也さんのお話しは鹿と人とヒルとの関係が丹沢の森に人為的にもたらしたものなど衝撃な内容に驚きました。神奈川の大切な山丹沢を何も考えずに歩いていた事に反省し今後に生かしたいと思いました。

藤沢山の会　岡崎

丹沢は近いこともあり、いつも日帰り。かねてより「どんな所だろう？」と気になっていた丹沢ホームに１泊し、２日間その周辺の山を歩くという今回の企画に魅力を感じ参加した。丹沢ホームはその名のとおり「アットホーム」。温かい雰囲気と心づくしの食事。やすらぎの空間だった。

夕食後は丹沢自然保護協会理事長でもあるホームの中村道也さんから、写真を示しながら丹沢の自然環境について解説があった。「鹿が増えたのではなく、人間が増やした」「（全身が毛で覆われている）鹿が蛭を運ぶのではなく、人間が（身辺に付けて）運ぶ」とのこと。認識を改めなければならない興味深いお話が聞けた。
食事の時に他会のメンバーと話ができたが、山を歩きながらは言葉を交わす程度。もう少し交流ができたら良かったと思う。

藤沢山の会　前田

昨年に続き２度目の参加です。この企画とても気に入っています。今回は中村さんから、スライドを観ながら丹沢の現状やヒルの事など話して頂き、とても参考になりました。来年も参加します。

藤沢山の会　田中

木の又小屋に続く「山小屋に泊まろう」シリーズ。敷居の高かった県連主催の企画も昨年に続き２度目の参加となりました。丹沢ホームに泊まっての山行は小屋泊の魅力満載。何より山の汗を流せる風呂と美味しい料理を頂き、オーナーからの貴重なお話に自然を守ることの大切さを学ばせて頂きました。丹沢の山を他会の方々とも歩く楽しい時間を頂きました。３度目は何処の小屋泊企画になるのか、来年も楽しみです。

藤沢山の会　竹村

理想的なコースでした。長尾尾根大好きです。雪の長尾尾根も歩きたいです。丹沢ホーム、全て手作り温もりを感じるところで季節ごとに来たいと思いました。今回の山行で､遭難は他人事ではなく､まさに身近に体験し、勉強になりました。

藤沢山の会　内田

今回初めて参加し、丹沢ホームの中村様のお話を伺い、自然の破壊、生態系の変化の原因は人に有り、と思いながら初めて登った長尾尾根樹齢何百年かと思う大木の山、何故か癒やされる。

ブナの林、表尾根とは違う丹沢の良さを感じた。木を守り、植物を守り山を守るのも我々登山者。こんな思いで登ればまた山が好きになる。

菩提峠の植樹の視察

藤沢山の会　渡辺

他会のメンバーとの山行は新鮮で楽しかったです。丹沢ホームでの話も有意義で皆に聞かせたいと思いました。

丹沢ホーム全員集合

報告書まとめ

萩原福子　磯部津輝子

事務局長会議議事録

日時　１月２３日（火）２０時～２１時

司会　岩田（事務局）　記録　村石（事務局）

１．理事長から伝えたい内容（早川）※理事長欠席

●総会について

今日議案書１次案は事務局部から一部分が出ているが、いろいろな事情から他からはない。次回常任理事会２／３を待たずに議案書一次案提出をお願いする。

あとで報告があるが、１２／１７政次郎尾根事故について、自然保護部からのしっかりした検証報告をお願いする。

２．事務局部

＊総会について

提出依頼文書について　各会から代議員を選出してください。

日程について　３月１０日(日)１０：００開会　１６：３０閉会予定

会場について　エルプラザ（神奈川県立かなざわ労働プラザ）　045-633-5413

アクセス　JR 京浜東北･根岸線「石川町駅」中華街口（北口）徒歩３分／横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」出口１徒歩１２分

丸山氏・入木田氏下見済：会場は７０人位

議案書作成状況　事務局部議案書は現時点で３割ほどの提出。会計に関しては、３月の総会までぎりぎりになるだろう。救助隊、自然保護委員会より提出あり。

その他

＊連盟ニュース（佐藤）

表紙と寄稿文

〇写真と記録(文章)は期日を厳守お願いします。月末までに原稿の提出

メール関係（山本・入木田）

〇Ｇメールに関して時々受信に問題があるが、特に大きな問題は無い。

事故一報（山本）※１２月１７日の事故に関しては自然保護委員会から後ほど説明

1月に入って３件報告あり。８月が１件。

事故報告は全国労山と神奈川労山の２か所に提出が、全国に報告しても県労山に届かなかい。システムが別なので、個別に報告の提出必要がある。

＊ヒヤリハット(代行　岩田)

〇現在はっきり集約できていないが、前担当が総会までにまとめるとのこと

各会の報告へ

会計（丸山）　丸山さん欠席

その他

３.専門部

＊自然保護委員会（関根）

●「里山を歩く」の企画は、武蔵五日市駅スタート、１／２０、案内人坂爪氏。悪天候のため延期。3 月の予定で、再度募集します。

●クリーンハイクー２／２６（日）第１回実行委員会１９：００～、各会から実行委員１～２名出してほしい

●２０２３年１２月１７日実施「山小屋に泊まろう」参加者の反応は良い。丹沢ホーム利用（大山登山後）

●自然保護部内で役割分担を決める方向で検討中

●政次郎尾根事故について

「山小屋に泊まろう」２日目１２／１７、長尾尾根コース班、政次郎尾根の下山中に足を滑らしてＮさんが負傷。軽傷と判断、自力下山をめざす。救助隊呼ぶことも検討したが、事故発生時間１３時半ころなのでパーティーで下山と判断。しかし思ったより痛みがひどくペースダウン。途中木の又小屋女性スタッフ１人が合流、戸沢出合から車に乗せてくれるようにと要請して先に下山。さらに男性スタッフ２人が合流、負傷者をサポート、同時に女性を先に下山させることを決断。やがて日没となり、ヘッドランプ点灯。戸沢出合で要請した車に乗せ、大倉の風の吊橋先から救急車で搬送。休日診療所の診察の結果骨折と判明、入院・手術の必要と。負傷者N氏自宅近くの新百合ヶ丘総合病院に入院、翌々日（１２/１９）手術。1/14 退院した。

上記資料に補足・対応方法・判断・意見等

・自然保護委員会が企画リーダーシップはとったが、同行メンバーが多数の会の混成メンバーで、事故発生後の役割分担が難しかった。

・これからの方向：企画は評判もよく、温存させたい。この事故に関しては、しっかりと報告書をまと

めて出す。
・報告内容＝事故経過(記録)　発生場所日時・発生後のコース選択とその判断理由
・藤沢山岳会の参加者から情報意見を出してもらう。
・参加者の意見を取りまとめて、自然保護委員会が責任をもって、今回の件の報告書を提出し、常任委員会を経て、県連ニュースにも報告を出す。
＊教育部（縄）
　来季活動方針　昨年の実績ふまえ気象講座１回ふやす、あとは２０２３年と原則同じ。交流会は実施するが効果薄いので検討必要あり。講習費用は来季の机上講習は無料だが、実技講習は受講者からは受益者負担、受講者の意識づけ等の理由から有料がよいとの声あり、来期１０００円徴収の方向。来季１０００円徴収は参加者の意識付けのため
＊救助隊（早川）
　この間の活動ないので報告なし。今年２月訓練山行　３／１６・１７雪崩講習、雪中訓練は雪の中でのテント泊を予定しているが、参加者の要望に備えて小屋泊まりも手配中。１２万円全国より下付され使途もきまりつつある
＊新日本スポーツ連盟（植田）　連絡なし。

4.　各会の報告　表の順番で会員数、ヒヤリハット、トピックスなどを報告

会名	出席者	会員数	トピックス
1　川崎労山	遠藤		新年会をする予定。来週
2　川崎ＨＣ	佐藤	95	１２月に再加入者あり。２１日(日)新年会を４年ぶり。大盛況
3　柴笛クラブ	欠		
4　AC 横浜	穴道	34	会山行１月実施　富士山雪上訓練　佐藤小屋から 6－7 合
5　藤沢山の会	たち？	100	1 月 13 日新年山行大山で５ルート集中登山
6　小田原ナーゲル	欠		
7　相模ＡＣ	永倉	43	２人新人入会。大晦日黄蓮谷で事故＝道迷いビバーク後ヘリで救出。けが等なく救出された。
8　みずなら山の会	木津	31	28 日に八ヶ岳北横岳？雪山練習予定
9　さがみ山友会	欠		
10　カモの会	池谷	46	12 月に雪上訓練　班ごと(木曽駒・谷川岳)
11　雪童山の会	酒井	14	12 月雪上訓練中央アルプス・去年事故１件・今年はないように
12　地平線の会	欠		
13　やま＋＋	中村	18	1 月 20 日白毛門　1 月 28 日　景信山餅つき大会
14　山ブキの会			
15　メーグリ家			
16　M＆C	久保	21	2 月に１人女性入会者・１名男性会員減　会人数変化なし。
17　銀嶺会	欠		
18　Grazie	欠		
19　SAWA MAFIA	畑	11	２か月間活動報告届かず、今月は出す

５.その他／自由討論　５分
・事故一報で問い合わせがあり、ＨＰに載せるようにした。ニュースには記入するようにした。月に 1 回位事務連絡で情報を承知したい。（入木田）
・アイスクライミングの各エリアの氷の情報（久保 M&C）
・先週、八ヶ岳広河原クリスマスルンゼ行ってきました。
・南沢大滝・湯川・上州度のエリアも氷ＯＫです
・日光エリアはどうですか？　日光方面は行っていないので不明です・（足尾ウメコバ沢 F3 から上で可能、林道岩崩壊落石あり、入木田注）

※記録を事務局からどなたかお願いします。
※記録係は開催後１週間以内に事務局長ＭＬ
　事務局長 ML　にて配信して追記、訂正してもらい
　事務局返信メールに返信

※修正後の議事録は県連理事ＭＬ
　事務局長ＭＬ　　２か所に配信

※次号連盟ニュースに掲載
※２０時より開催します、２１時には終了予定なので手際よい進行にご協力をお願いします。目安の時間配分をしました。

以上、皆さんの連携が必要です。

常任理事会議事録（Ｚｏｏｍ）
日　時　２月１１日（日）２０：００～２１：００
出席者　早川、渡辺、関根、岩田、鍋野、縄、村石（事務局）　久保（オブザーバー）

★議案書の議論が中心

第３９県連総会議案書について

早川　総会の意義について。労山に何を期待するか。県連の活動を各会にどう還元するか、常任理事など県連をうごかす側は常に考えている。議案書追認の総会ではない、議案書案をもとに県連そのものを議論してほしい。各会は県連に連盟費を出しているのだから、代議員はしっかり議論してほしい。全国連盟の総会も議案書の追認の場になっている。高齢化の問題とか、いろいろ議論することはあるはず。新任理事は出席ないなら承認しない。

鍋野　仲間が欲しい、山を安全に登る、仲間と登山を楽しむ、そういう動機で入会し活動している。そのために何が必要か、何が問題か、議論する場が総会。

事務局より

１．総会議案書
●教育部案、提出したはず→事務局で確認
●救助隊案、自然保護委員会案はオーケー。
●議案書冒頭、「第３９期定期総会にむけて」は早川理事長執筆、２月中旬までに

２．総会代議員・理事出席届の状況
●半数程度の提出

３．久保健一氏
●稜風会から理事として推薦のうえ、常任理事をお願いしたい。

４．「委任状」について
●規約によると委任状は代理人に委任する場合に限定されている。しかし前回総会より踏襲している「委任状」には理事長に委任する形になっている。
●結論　　前回からの委任状を利用して、理事長への委任を踏襲する。

５．総会に向けてのスケジュール
●２月中旬までに第２次案を各会に送信、議論をお願いする

６．全国連盟役員選考委員会からの要請―遭対基金担当役員を神奈川から
●対応できない

７．意見書の提出を呼び掛ける

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告　2024年　1月

活動報告送り先：ホームページの連盟員のページから

沢：沢、講習会：講	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷 アイスクライミング	人数	形態
川崎ハイキングクラブ　機関紙「りんどう」			http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/					
報告：守口尚美　計94名（男42　女52　）　平均年齢68.歳								
12/16　聖武連山／上野原	14	A	12/24　大山三峰山／丹沢	12	A	1/3-6　真妻山・重畳山／和歌山県	18	H
12/16-17　大山北尾根・ヨモギ尾根／丹沢	1	A	12/27　室内例会	34		1/7　高尾山／高尾	18	H
12/17-18　三峯神社・妙法ヶ岳／秩父	9	A	12/30　本仁田山／奥多摩	11	A	1/7　葉山アルプス／三浦半島	13	H
12/23　北横岳／長野県	3	A	1/2　比叡山／京都	2	H	1/7-8　丹沢主脈縦走	6	A
銀嶺会(https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei)								
報告：　計5名（男0　女5　）　平均年齢								
12/29-31 アイスキャンディー	2+3	R	1/1 高尾山	1+1	A	1/13 金時山	1+1	A
12/30 鶴翼山	1	A	1/6-8 南沢大滝＆三叉峰ルンゼ	1+2	R	1/20 白毛門	1+2	A
12/31 如意ヶ岳	1	A	1/12-13 アイスクライミングWC(韓国戦)	1	R	1/20 アイスクライミングWC(フランス戦)	1	R
川崎勤労者山岳会　機関誌：「あざみ」　http://sangakukai.wix.com/kawasakirouzan								
報告：田中良子　計17名（男11女6）　平均年齢58.0歳								
12-29-12-31甲斐駒ヶ岳	1	S	1/4景信山-城山-高尾山	5	H	1/14阿弥陀岳南稜	2	R
12/29浅間山	1	S	1/7-1/8笹山（黒河内岳）	2	S	1/14城山マルチピッチルート	2	R
1/1高尾山	1	H	1/7丹沢・表尾根	1	A	1/14八ヶ岳　天狗岳周遊　時計回り	3	S
1/2金時山	1	H	1/8陣馬山景信山高尾山縦走	1	H	1/25権現岳	3	S
1/3湯河原幕岩	2	R	1/8湘南鷹取		R	1/27伊豆城山	2	R
1/3湯河原 幕岩	3	R	1/8高ドッキョウ	2	A	1/28ニュウ	3	S
1/4赤城山	4	S	1/11長者ヶ岳～天子ヶ岳	2	H			
小田原ナーゲル山の会　機関誌：　ホームページ https://www.nagel.jp								
報告者：西村　悟志　計19名（男12　女7）　平均年齢　60歳　（5月現在）								
1/1丹沢　塔ノ岳	1	A	1/8上信越　谷川岳	1	S	1/25丹沢　鍋割山	3	A
1/6富士　天子ヶ岳	1	A	1/8関西　比叡山	1	A	1/28箱根　矢倉岳	1+3	A
1/7丹沢　塔ノ岳	1	A	1/13丹沢　畦ヶ丸	1+1	A	1/28忍野　石割山	1	A
1/8箱根　矢倉岳	1	A	1/14奥多摩　高水三山	4	A			
会名　みずなら山の会　ホームページ　http://www.mizunarayama.com/								
報告者　木津博子　人数　31名（男 17名・女 14名）平均年齢　67歳								
1/4道志山系（今倉山）	6	H	1/13　高尾山	2	H	1/27　巻機山	1	SKI
1/4丹沢-三ノ塔	1	H	1/14　谷川岳	3	S	1/27　塔ノ岳	3	トレ
1/4　石老山	1+1	H	1/23　高尾山	3	H	1/28　北八ヶ岳（北横岳・縞枯山）	2	雪山
1/5　弘法山	2	H	1/23　入笠山	3	S	1/28　北八ヶ岳（北横岳）	3	雪山
1/7　鍋割山	2	H	1/26　高尾山	2	H			
1/8　西穂高	1+1	S	1/27　伊豆	4	H			

山岳会　カモの会			http://www.kamonokai.com/hp/index.html					
報告:カモの会事務局　計57名　（男34　女23 ）　平均年齢42.6歳								
01/01 高尾山	1+1	H	01/06 辺室山・大山三峰山・鐘ヶ嶽	1	H	01/13 湯河原	1+1	R
01/02 青葉の岩場	1+1	R	01/07 権現岳東稜	1+1	R	01/13 金時山	1+1	H
01/03 道志、御正体山	1	H	01/07 八ヶ岳　広河原沢	1+4	氷	01/13 城山マルチ	1+1	R
01/03 上州武尊山	3	S	01/07 城ケ崎	1+1	R	01/13 城ケ崎	1+1	R
01/03 日和佐	1+1	R	01/07 鷲頭	1+2	R	01/14 赤岳(県界尾根-真教寺尾根)	2	S
01/04 湯河原幕岩	1+2	R	01/08 タイ　クラビ	1	R	01/14 城山	1+1	R
01/04 湯河原	3+1	R	01/08 湯河原幕岩	4	R	01/20 那須岳	2	S
01/05 松生山	1	A	01/09 大町周辺/雪山講習	1+2	S	01/20 八ヶ岳　横岳中山尾根/裏同心ルンゼ大同心南稜	2	R
01/06 白馬スキーツアー	1+1	SKI	01/10 広河原沢 アイス	1+1	氷	01/20 白毛門	3	S
01/06 阿弥陀南稜	1+3	R	01/13 赤岳・阿弥陀岳	4	S	01/20 平湯スキーツアー	1+2	SKI
01/06 城山	3	R	01/13 高川山	1	H	01/24 足尾ウメコバ沢	1+1	氷
01/06 丹沢大山ハイク	1+2	H	01/13 天狗原(イグルー作成トレ)	2+3	SKI			
Grazie　http://ocha-time.xsrv.jp/								
報告:相川　時子　計15名(男10　女5)　平均年齢44歳								
1/6 南沢大滝	3	R	1/6-1/7　宝剣岳	4	S	1/7-1/8　縞枯山	2	S
1/8　広河原沢右俣	1+1	R	1/13-1/14　木の又小屋(塔ノ岳政次郎尾根)	2	A	1/13　八ヶ岳王岩	1+1	R
1/14　南沢大滝	1+1	R	1/20-1/21木の又小屋(塔ノ岳政次郎尾根)	3	A	1/27　アイスキャンディ	1+3	R
1/27　阿弥陀北稜	1	S	1/28　相沢奥壁	1+1	R			
SAWA MAFIA								
報告:宮崎玲充　計10名(男9　女1)								
1/3 イトシロシャーロットタウン　スキー場跡	1	SKI	1/6 牟岐大島	1+1	R	1/20 八ヶ岳ジョーゴ沢	1+5	氷
1/5 武庫川　新岩	1+1	R	1/8 日照岳	1	SKI	1/27 八ヶ岳大同心大滝、小同心クラック	1+2	氷
1/6 二子山	1+2	R	1/13 乗鞍岳	1	SKI	1/28 米子不動の氷瀑群	1+1	氷
1/6-1/7 越前荒島岳	1+6	S	1/13 八ヶ岳　夏沢鉱泉アイスギャラリー	1+2	氷			
相模アルパインクラブ　https://sagami-ac.sakura.ne.jp/								
報告:山行管理部　計41名(男25名 女16名)　平均年齢 54.7歳								
1/1～2　道志山塊　杓子山	1+3	A	1/7～8 伊豆　城山	3	R	1/22　箱根　湯河原幕岩	1+2	R
1/3～4　八ヶ岳　広河原沢左俣	1+1	氷	1/6～8　伊豆 城ケ崎	1+6	R	1/22～23　上毛三山・尾瀬周辺	1+1	R
1/3 丹沢 弘法山	1	A	1/9　箱根　湯河原幕岩	3+2	R	1/22～23　伊豆 城ケ崎	3+1	R
1/3 箱根　湯河原幕岩	2	R	1/9　箱根　湯河原幕岩	1+1	R	1/23　箱根　湯河原幕岩	1+1	R
1/4 丹沢　地獄沢、スッカンコロバシ沢	1	A	1/14　丹沢　大小屋ノ沢・つどいの沢	2	沢	1/24　奥秩父山塊南　兜岩	1+1	R
1/2～4 三重県　宮川/盾ケ先/梶賀/神須ノ鼻/白くら	1+2	R	1/14　箱根　湯河原幕岩	4	R	1/25　奥多摩 御前岩	1+2	R
1/6 丹沢 弘法山	1	A	1/13～14　伊豆 城山	1+1	R	1/27　丹沢　関東ふれあいの道	1	A
1/6 箱根　湯河原幕岩	1+4	R	1/14　伊豆 城ケ崎	1+3	R	1/27　箱根　湯河原幕岩	1+2	R
1/7 大月　高倉山	1	A	1/14　箱根　湯河原幕岩	1+2	R	1/27　箱根　湯河原幕岩	2	R
1/7 足尾山塊　桐生アルプス	1+1	R	1/15 箱根　湯河原幕岩	1+2	R	1/27～28　伊豆 城ケ崎	7	R
1/7　吾妻連峰　磐梯山	1+2	A	1/15～16　伊豆 城ケ崎	3+1	R	1/27～28　八ヶ岳・南アルプス 美濃戸口周辺・上荒井沢	2	氷
1/8　東北いわき　青葉の岩場	1+2	R	1/17 箱根　湯河原幕岩	1+1	R	1/27～28　八ヶ岳　南沢大滝、小滝	2+1	氷
1/7～8 南アルプス前衛　入笠山	3	A	1/18　伊豆 城ケ崎	2	R	1/28　奥多摩　棒ノ折山	1	A
1/8　三浦半島　三浦アルプス	1+1	A	1/19　大雪山　旭岳・天人峡エリア	1+1	S	1/28　奥多摩　御前岩	1+2	R
1/8　奥多摩　高水三山	1	A	1/20　糠平温泉　糠平湖	1+1	S	1/30　箱根　湯河原幕岩	3+2	R
1/6～8　赤岳鉱泉BC 冬合宿(会山行)	7	S	1/20～21　北アルプス国立登山研修所	1+17	研修	1/31　箱根　湯河原幕岩	2	R

アルパインクラブ横浜	http://acy.jpn.org/							
報告:神谷　敬	計35名（女13名,男22名）　平均年齢:46歳							
1/3 湯河原幕岩	8	R	1/8 湯河原幕岩	3	R	1/20 越後守門岳	4	S
1/3-5 聖岳	3	S	1/8 伊豆　城ケ崎	2	R	1/27 赤城山(長七郎岳)	2	S
1/4 三浦アルプス	4	H	1/8 八ケ岳 広河原沢	5	R	1/27-28 赤岳鉱泉ｱｲｽｷｬﾝﾃﾞｨ	2	R
1/4 伊豆　城ケ崎	2	R	1/10-11 仙の倉山北尾根	2	S	1/27-28 米子不動	4	R
1/4-6 塩見岳	2	S	1/13-14 富士山	14	S	1/28 湯河原幕岩	3	R
1/6-7 爺ヶ岳東尾根	1	S	1/17 伊豆　城ケ崎	2	R	1/28 伊豆　城山	2	R
1/7 白馬八方尾根	5	S	1/18-19 八ヶ岳　旭岳東稜	2	R	1/28 伊豆　城ケ崎	2	R
やま++　http://yamaplapla.sakura.ne.jp								
報告：計18 名（男10女8 ）　平均年齢61.2歳(24/1/31現在)								
1/7 西丹沢　高松山マイナー	2/1	H	1/8 丹沢　大山	5	H	1/14 奥多摩　本仁田山マイナー	3	H
1/16富士周辺石割山	2	H	1/20-21 谷川岳雪トレ	4	S	1/28 景信山餅つき山行	9/3	H
1/30 奥多摩高川山	3	H						

2024年度　丹沢　春の植樹参加者募集のご案内

丹沢の「多様な生命を育む森林づくり」をテーマにした植樹への参加者を募集します。ＮＰＯ法人　丹沢自然保護協会が春、秋に行っているイベントです。植樹過活動に加えて、丹沢の歴史や今の状況に触れる良い機会です。

１　日　　時　　４月２０日（土）　１１：００～１４：００＜雨天の場合２１日（日）に順延＞

２　集合・解散　ヤビツ峠９：３０集合（秦野駅からヤビツ峠行バス８：２４発を利用してください）
ヤビツ峠～岳の台～菩提峠までハイキング
解散後、菩提峠から１４：３０発の貸し切りバス有り（５００円・要予約）

３活動場所と内容　菩提峠にて。ブナ、ミズナラ、ヤシャブシ他の植栽植樹　　約１時間３０分

４ 行程　　開会式１１：３０その後、作業スタート
昼食　１３：００頃
解散予定　１４：００

※　参加費1,000円は神奈川労山が負担します。
※　活動に必要な資材は主催者が用意
※　持ち物は弁当、水、軍手、雨具などの軽装登山

６　申込先　　bosyuu_sizen@k-rouzan.net 自然保護委員会 伊藤まで
各会でまとめてください。

７　締め切り　３月２０日（水）
４月２１日（日）の参加の有無、帰りのバスの利用の有無をお知らせください。

全国・県連スケジュール

日	曜	２月	日	曜	３月	日	曜	４月
1	木		1	金		1	月	
2	金		2	土		2	火	
3	土		3	日	常任理事会	3	水	
4	日		4	月		4	木	
5	月		5	火		5	金	
6	火		6	水		6	土	
7	水		7	木		7	日	常任理事会
8	木	救助隊運営会	8	金		8	月	
9	金		9	土		9	火	
10	土		10	日	県連総会	10	水	
11	日	常任理事会	11	月		11	木	救助隊運営会
12	月		12	火	事務局長会議･事務局部会	12	金	
13	火		13	水		13	土	
14	水		14	木	救助隊運営会	14	日	
15	木	教育部会	15	金		15	月	
16	金		16	土		16	火	
17	土		17	日		17	水	
18	日		18	月		18	木	教育部会
19	月		19	火		19	金	
20	火		20	水		20	土	
21	水		21	木	教育部会	21	日	
22	木		22	金		22	月	自然保護委員会
23	金		23	土		23	火	
24	土		24	日		24	水	
25	日		25	月	自然保護委員会	25	木	
26	月	自然保護委員会	26	火		26	金	
27	火		27	水		27	土	
28	水		28	木		28	日	
29	木		29	金		29	月	
			30	土		30	火	
			31	日				
2/3～5 第 37 回全国雪崩講習会								